

令和4年度 緑区対話集会開催概要（6月）

No.	議題の内容	回答
1	<p>・原山小学校グラウンドの排水改善について 校舎の南側にあるグラウンドは、周辺の道路や墓地よりも低地にあります。 雨が長く多く降ると、グラウンドの南側（小学校南門周辺）が浸水してしまうため、平常時は南門を利用している子どもたちが迂回して北側の正門より登下校します。 屋外での体育の授業や災害時の避難所開設にも支障をきたします。早急に排水能力のレベルアップをお願いします。</p>	<p>専門業者と現場確認を実施したところ、校庭の側溝・樹に泥や枯葉が堆積しておりました。近日中に側溝・樹の清掃作業を実施いたします。 清掃作業を実施しても状況が改善されない場合は、排水能力を向上させるための修繕・工事を検討していきたいと考えております。 【教育委員会事務局 管理部 学校施設管理課】</p>
2	<p>・原山小学校通学路における横断歩道の増設について 令和3年度懇談会の回答では、「令和3年5月に区役所から浦和東警察署に対し、要望書を提出した」とのことですが、現在の取扱いを確認したい。</p> <p>【参考：昨年の議題内容】 原山1-16-10付近の交差点は、原山小学校の登下校の通学路で、約250名の児童が右側通行を守って、車の往来が多い生活道路を横断しております。 登校時は右側通行で横断歩道を通行できますが、下校時は横断歩道が右側にないため、一度左側に横断し、横断歩道を通行した後、再度右側に戻るような状態です。両側に横断歩道を設置することを要望いたします。</p>	<p>・横断歩道の増設について 所管課である浦和東警察署交通課の担当者に、改めて令和4年5月19日（木）に確認したところ、継続して検討しているとのことです。 【浦和東警察署】</p> <p>・現道の交通安全対策について 緑区役所くらし応援室では交通安全対策として、横断歩道の手前に車両運転手への注意喚起として「横断歩道あり 歩行者優！！」という看板を2枚設置いたしました。 【緑区役所 くらし応援室】</p>
3	<p>・現道の交通安全対策について 道祖土小学校南門から原山市民プール側に抜ける市道の旧埼玉県警察官舎付近の道路に狭隘部があり、交通安全上また防災上の重大な阻害要因になっています。 道幅は市道の要件である4mの幅は確保できていますが、当該地点では約90°に道が曲がっているため、車の行き違い上で死角が生じています。 道祖土小学校の学童の登下校路ですが、さいたま市が作成した「道祖土小防犯安全マップ」上でも「注意が必要な箇所」と注記されています。 令和元年11月に、本空き地の所有者である埼玉県警本部（総務部財務局）と協議し、上記の実情を説明し、約1m程度の道路後退の検討を書面にて依頼しました。令和2年4月、当該部門の担当者より「道路後退にはコンクリート塀の撤去等かなりの費用（概算三千万）がかかるため、改良は難しい」との返事がありました。 昨年の懇談会では、「令和2年に赤枠ベンガラ施工、注意喚起の看板の設置などを行なった。さらに効果的な安全対策を図れるよう検討する」との回答をいただきました。 その後、さらに効果的な安全対策の検討は行われたのでしょうか。</p>	<p>緑区役所くらし応援室では、更なる交通安全対策を検討するため、現地を確認しました。 この度、現道周辺に車両運転手への注意喚起として「幅員狭し 児童に注意！！」や「通学路につき 児童に注意！！」という注意喚起の看板を、合計3枚設置してまいります。 【緑区役所 くらし応援室】</p>